

PHOTO

ポスターにおける写真表現

Photographic Expression in Posters



2019.11.18 月 - 12.14 土

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

開館時間：10:00-17:00(入館は 16:30 まで)

休館日：日曜・祝日

入館料：一般 200 円 / 大学生 150 円 / 高校生以下無料

* 京都・大学ミュージアム連携所屬大学の学生・院生は学生証の提示により無料で入場できます。

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto

ポスターにおける写真表現

Photographic Expression in Posters

2019.11.18 Monday - 12.14 Saturday

現代において、ポスターに写真が使われることは、非常に一般的です。写真が使われているポスターをその表現方法に注目してみると、トリミングやモンタージュ、文字との構成など、あらゆる表現が存在していることに気づくでしょう。またそれらは、当時の社会情勢や印刷技術の発展とも無関係ではありません。

本展は、京都工芸繊維大学美術工芸資料館のコレクションから、日本のポスターにおける写真表現に着目したものです。第1室では、日本でポスターに写真が使われだした初期の作品を、それらに影響を与えた美人画ポスターと共に展示します。第2室では、1960年代、70年代の大島弘義や檜垣紀六、TAB(Tokyo Art Bureau)、粟津潔等の作家による表現豊かな映画ポスターを紹介します。第3室では、グラビア印刷の色彩が美しい亀倉雄策による1964年の東京オリンピックのポスターを起点に、写真の使われているオリンピックポスターを展示します。

ポスターにおける写真表現の発展をその時代の変化と共に感じていただけると幸いです。

(企画：京都工芸繊維大学 博士後期課程 芦高郁子)

- 1: 井上木宅、片岡敏郎 『赤玉ポートワイン』 1922年
 - 2: 大島弘義 『尼僧ヨアンナ』 1962年
 - 3: 檜垣紀六 『ジャンヌ・ダルク裁判』 1969年
 - 4: 亀倉雄策 他 『第18回東京大会、1964年』 1962年
(表面)
- TAB(TokyoArtBureau) 『ポリー・マギーお前は誰だ』 1969年
里見宗次 『ナンシー・バレー団』 1967年
檜垣紀六 『ラブ・ワン』 1973年
大島弘義 『戦争の真の終り』 1965年
檜垣紀六 『市民ケーン』 1966年
TAB(TokyoArtBureau) 『小さな兵隊』 1968年



1



2



3



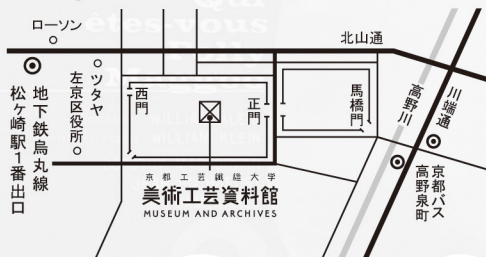
4

交通

○市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分

○京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分

By Subways: Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Line Subway to "Matsugasaki" Station, and walk east for 8 minutes.



同時開催

◆「草の根のオール・ヌーヴォー 明治期の文芸雑誌と図案教育」

会期：2019年 10月28日(月)～ 11月22日(金)

◆博物館実習展示：「纏う自然—着物の中に見る、自然表現」/
「考える余白」

会期：2019年 12月2日(月)～ 12月19日(木)(予定)

お問い合わせ

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology

Hashigami-cho Matsugasaki Sakyo-ku Kyoto-shi Kyoto 6068585, Japan